



福島駅前にぎわい創出支援事業 (R6~R7)

福島市の紹介



東京から新幹線で
約1時間30分

東京⇔名古屋と同じ距離感

桃

農業算出額
55.9億円

全国**2**位



梨

農業算出額
23.1億円

全国**1**位

※農業算出額（全国市町村順位）令和2年分農林水産省推計

《福島駅前東口再開発とは》

- ① まちなかのにぎわい創出
(民間事業ベース+公共施設)
 - ② 公共施設再編
(多目的でまちに開かれたホールなど)
- ➡ 資材高騰、商業環境変化により計画見直しへ
➡ 見直しにあたり、市民の意見を取り入れ
➡ まちなか再生の起爆剤として期待

《見直しの方向性》

- ① 市民利用スペースの拡充
(大屋根広場、屋上広場、まちなかりビング)
- ② インキュベーション機能の設置
(はたらく人や企業のコミュニケーションの場)
- ③ まちに開かれた施設
(通りや広場、ホールと一体催事利用、回遊向上)
- ④ ふくしまの魅力の体感と情報発信
(ふくしまの食、物産、まつりなど観光情報)

コンセプト

にぎわい

- ・用がなくても立寄りたくなる
- ・集客力の高い催しが開催できる
- ・施設に閉じずまちに開けている

にぎわい・文化・つながりが生まれる《たまご》
= FUKUSHIMA EGG =

- ・産学民が使いやすい
- ・多彩な目的に使える
- ・演出の自由度が高い

文化

つながり

- ・交流を生む環境がある
- ・市外からも人が集まる
- ・福島産品をはじめとして、多彩なものと接する



※本画像はあくまでイメージです。内容は、今後の設計段階にて具体化します。

- 福島駅前再開発は、見直しにより工事着手がR8予定
→それまで、駅前に巨大な未利用空間が続く。

【駅前にぎわい創出】

再開発エリア内にイベント機会や市民憩いのための空間を創り出す。
……広場の整備・補修:約22百万円(R6・7)

○「駅前にぎわい広場」の貸し出し

東口再開発エリアの工事着手までの間、貸し出し。

【利用時間】:午前7時~午後9時

【面積】:約2,500平方メートル

【期間】:令和6年10月1日~令和8年2月頃(予定)

○利用イメージ(例)

- ・日常的には、ベンチでの休憩や飲食などに利用
- ・イベント利用は、隣接する駅前通りや周辺の広場での各種イベントの拡充や連携など

- テーブル・ベンチは、市民に募集しているほか、学生と廃材などを活用したリメイクを予定



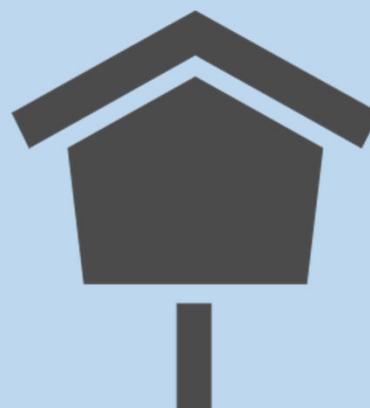
御寄附頂けました際には



感謝状贈呈



HP公表



駅前にぎわい広場
へ企業名掲載

※1 HPは企業名・本社HPリンクなどを掲載します

※2 駅前にぎわい広場への企業名掲載サイズ等は協議により決定します



多くの企業様からのご連絡お待ちしております

企業版ふるさと納税に関して

担当：油井 ☎024-525-3788

✉seichou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

福島駅前にぎわい創出支援事業に関して

担当：加藤 ☎024-525-3763

✉shigaichi@mail.city.fukushima.fukushima.jp